

響きあうアート

— 美の拡がり、美術の拡がり —
Art of Resonance - Beyond Season for Our Future

美術館開館10周年を記念した展覧会
芸術地域デザイン学部の教員と
他学部教員とが連携しながら
新たな芸術創造の可能性を探ります

9月9日(土)-10月22日(日)

場所：佐賀大学美術館
時間：10:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日：月曜日 ※祝日・観音堂祭火曜休館

観覧
無料

10 佐賀大学芸術文化センター ART SESSION

佐賀大学美術館
THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM
SUAM

SUAM 佐賀大学美術館

目次

[年報]

1.	沿革	03
2-1.	展示記録（主催展）	04
2-2.	展示記録（共催展）	12
2-3.	展示記録（申請企画）	13
3.	視察・見学・実習受け入れ	14
4.	寄附	15
5.	所蔵資料	16
6.	刊行物	16
7.	関連記事	16
8.	入館者一覧	17
9.	運営に関する資料	
	館概要	18
	組織図	19
	規則	20
	運営委員会規程	21
	利用規程	22
	施設等使用細則	24
	寄贈・寄託専門委員会	25

[紀要]

「佐賀大学美術館開館 10 周年記念展『響きあうアート	27
—美の拡がり、美術の拡がり—』のその後」	
花田 伸一（芸術地域デザイン学部 教授）	

【凡例】・年号の統一は西暦で統一した。ただし、「9. 運営に関する資料」は和暦で統一した。

・肩書、役職などは事業実施時点のものである。

1. 沿革

2011年 1月 4日	学長年頭挨拶で美術館設置計画を発表
6月 8日	佐賀大学役員会にて美術館設置諮問委員会からの答申書を報告 美術館の設置を審議・了承。同時に3WG（設置募金、利用、建設）についても報告
12月20日	美術館基本設計建設コンサルタント選定委員会で基本設計コンサルタント選定
2012年 2月22日	佐賀大学役員会にて基本設計のイメージを説明、募金趣意書の作成を提案・了承
5月14日	基本設計納入
12月29日	美術館実施設計終了
2013年 2月14日	新営工事起工式
6月26日	美術館規則、美術館運営委員会規程制定
8月30日	美術館建設工事竣工
9月28日	佐賀大学統合10周年記念式典・佐賀大学美術館開館記念式典
10月 2日	一般般公開開始
2014年10月24日	入館者5万人達成
2015年 1月22日	第18回佐賀市景観賞受賞
2016年 2月19日	入館者10万人達成
2018年12月 8日	入館者20万人達成
2020年12月 2日	入館者25万人達成
2023年 9月 8日	佐賀大学美術館開館10周年記念式典
2023年11月24日	入館者30万人達成

[設立主旨]

2013年10月、旧佐賀大学と佐賀医科大学の統合10周年記念事業として佐賀大学美術館は誕生しました。美術館と、併せて整備された正門エリアは、「地域に開かれた大学」という佐賀大学の理念を象徴するものです。美術館は、総合大学である佐賀大学の魅力を多方面に向けて、より多くの人に知っていただくための情報発信源として活用されています。

[活動目的]

佐賀大学が所有する資料や、美術・工芸に関連する作品を収集・保管・展示するとともに、文化芸術の新しい活動や表現を地域の方々とともに作り上げ、総合大学が生み出すさまざまな研究成果を周知・公開していきます。

2-1. 展示記録（主催展）

常設展示第1期「佐賀大学美術館の風景画～佐賀を探そう～」

《概要》

開館10周年を迎え、常設展示では美術館のコレクションのうち、従来展示頻度の少なかった秘蔵ともいえる作品を中心に展示を行った。第1期では当館収蔵品のうち風景画を選出。作品とともに、描かれた土地の現在の様子を写真で掲示し、その土地にまつわる歴史・民俗を紹介した。また、来館者の参加型体験コーナーも設けた。

《会期》2023年4月4日（火）～7月23日（日）

《開館日数》96日間

《会場》特別展示室

《展示構成》13点

《入館者数》4,469人

《広報物》外看板、目録



常設展示第2期「佐賀大学美術館のコレクション大集合」

《概要》

第2期では10周年記念展「響きあうアートー美の拡がり、美術の拡がりー」の開催に際して、過去から現在に至るまで約100年にわたる佐賀県・佐賀大学の美術教育史の歩みを振り返る展示を行った。

《会期》2023年8月3日（木）～10月31日（火）

2023年11月9日（木）～11月26日（日）

《開館日数》89日間

《会場》特別展示室

《展示構成》16点

《入館者数》8,396人

《広報物》外看板、目録



常設展示第3期「佐賀大学美術館の資料・アーカイヴ」

《概要》

第3期では、美術館開館初期の2015年頃までに収蔵した作品を中心に本学ゆかりの作家による作品を紹介した。

《会期》2023年12月22日（金）～2024年3月24日（日）

《開館日数》69日間

《会場》特別展示室

《展示構成》11点

《入館者数》6,379人

《広報物》外看板、目録



「チラシ・ポスターで紐解く佐賀大学美術館 10 年史」

《概要》

開館から10年にわたる歩みを振り返る展示を行った。当館2013年10月から2023年3月までに開催された主催展のポスターやチラシを一挙に公開した。

《会期》2023年4月11日（火）～6月25日（日）

《開館日数》66日間

《会場》ギャラリー1

《展示構成》パネル55点

《入館者数》3,186人



「展示ができるまで vol.2」

《概要》

2022年度開催の「展示ができるまで」を発展させた展示を行った。再展示を行うとともに、これからの美術館に焦点をあてた。

《会期》2023年4月11日（火）～6月25日（日）

《開館日数》66日間

《会場》ギャラリー2

《入館者数》3,186人



「写真で見る佐賀大学」

《概要》

佐賀大学の前身である佐賀県師範学校、佐賀県女子師範学校、佐賀青年師範学校、旧制佐賀高等学校、そして佐賀大学設立期の写真やパネルを展示し、この地に集った「昔の学生」の姿を紹介した。

《会期》2023年4月11日（火）～6月25日（日）

《開館日数》66日間

《会場》歴史展示スペース

《展示構成》パネル6点 古写真24点（展示替え含む）

《協力》佐賀大学同窓会

《入館者数》3,186人



ミュージアムグッズ企画プロジェクト展 「SUAM' s Idea- 日常× Museum Design-」

《概要》

ミュージアムグッズは、単なる記念品ではなく、ブランディングや集客、文化財への体感的な理解や愛着などをミュージアムや地域にもたらす効果を期待できるツールであるため、ミュージアム・マネジメントの一部として重要である。本展では、芸術地域デザイン学部藤井康隆准教授のゼミと共同で、佐賀大学美術館の広報や来館者誘導、地域ブランディングに貢献することをテーマとし、博物館学を学ぶ学生が考案したミュージアムグッズの試作品や企画案を展示・発表した。

《会期》2023年7月25日(火)～8月27日(日)

《開館日数》24日間

《会場》小展示室

《展示構成》21点

《入館者数》3,024人



佐賀大学美術館開館10周年記念

トークシリーズ「地域・歴史・芸術 私たちは何をどう保存するのか？」

《概要》

開館10周年を記念し、総合大学による地域に開かれた美術館としての記念事業を実施した。事業は二つの部門から構成され、一つ目のトークシリーズ「地域・歴史・芸術 私たちは何をどう保存するのか？」では大学や美術館・博物館から専門家を招き、芸術と地域を視野に入れた「美術館×博物館」の新たな活動領域を巡る講演・討論会(全8回)を開催した。

《会期》2023年6月10日(土)～9月2日(土)

《会場》佐賀大学教育学部1号館多目的室

佐賀大学教養教育2号館2109AL室

《協力》佐賀大学芸術地域デザイン学部

《印刷物》チラシ(A4、4,000部)

《企画》花田 伸一(キュレーター、佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授)／藤井 康隆(博物館学、佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授)／見藤 素子(佐賀大学美術館学芸員)

第1回「分野を横断する大学ミュージアム」

《講師》加藤 幸治(武蔵野美術大学教養文化・学芸員課程教授、武蔵野美術大学美術館・図書館副館長)

《司会》藤井 康隆

《日時》6月10日(土)14:00～16:00

《会場》佐賀大学教育学部1号館多目的室

《参加者数》24人

第2回「ミュージアムを再定義する」

《講師》神野 真吾(千葉大学教育学部准教授、角川武蔵野ミュージアムアート部門ディレクター)

《司会》花田 伸一

10 佐賀大学美術館開館10周年記念 TALK SERIES トークシリーズ

地域・歴史・芸術 私たちは何をどう保存するのか?

2023 6月10日(土) 14:00-16:00 講演・討論会
分科長加藤幸治氏(武蔵野大学)、「ミュージアム」の定義から地域文化の保存と活用
6月24日(土) 14:00-16:00 講演・討論会 多目的室
「ミュージアム」の定義から地域文化の保存と活用
7月16日(土) 14:00-16:00 講演・討論会 多目的室
「ミュージアム」の定義から地域文化の保存と活用
7月16日(土) 14:00-17:00 講演・討論会 多目的室
「ミュージアム」の定義から地域文化の保存と活用
7月23日(土) 14:00-16:00 講演・討論会 多目的室
「ミュージアム」の定義から地域文化の保存と活用
8月6日(土) 14:00-16:00 講演・討論会 2109AL室
「ミュージアム」の定義から地域文化の保存と活用
8月20日(土) 14:00-16:00 講演・討論会 2109AL室
「ミュージアム」の定義から地域文化の保存と活用
9月2日(土) 14:00-17:00 講演・討論会 2109AL室
「ミュージアム」の定義から地域文化の保存と活用

佐賀大学 教育学部 1号館多目的室 2109AL室
〒840-0292 佐賀県佐賀市大東2-1-1
TEL 0942-231-3111 FAX 0942-231-3112
http://www.saga-u.ac.jp/~suam/

主催 佐賀大学美術館・協賛 佐賀大学教育学部1号館多目的室
企画 藤井康隆准教授・見藤素子学芸員
協力 佐賀大学芸術地域デザイン学部

《日時》6月24日(土) 14:00～16:00
《会場》佐賀大学教育学部1号館多目的室
《参加者数》19人

第3回「総合大学における文化芸術施設の新たな役割」

《講師》渡部 葉子(慶應義塾大学アート・センター教授、キュレーター、慶應義塾ミュージアム・コモنز副機構長)
《司会》藤井 康隆
《日時》7月8日(土) 14:00～16:00
《会場》佐賀大学教育学部1号館多目的室
《参加者数》20人

第4回「大学ミュージアムと地域の関わり」

《講師》三島 美佐子(九州大学総合研究博物館教授)/藤 浩志(美術家、秋田公立美術大学美術学部教授、秋田市文化創造館館長)
《日時》7月15日(土) 14:00～17:00
14:00～15:00:三島 美佐子講演、15:00～16:00:藤 浩志講演、16:00～17:00:トークセッション
《司会》花田 伸一、見藤 素子
《会場》佐賀大学教育学部1号館多目的室
《参加者数》16人

第5回「歴史と人と地域をつなぐ博物館」

《講師》西 聡子(市原歴史博物館学芸員(日本近世史専門))
《司会》藤井 康隆
《日時》7月22日(土) 14:00～16:00
《会場》佐賀大学教育学部1号館多目的室
《参加者数》22人

第6回「文化財と地域を保存する/修復する」

《講師》宮本 晶朗(東北芸術工科大学芸術学部文化財保存修復学科准教授(文化財保存修復研究センター研究員を兼務))
《司会》見藤 素子
《日時》8月20日(日) 14:00～16:00
《会場》佐賀大学教養教育2号館2109AL室
《参加者数》15人

第7回「市民とミュージアムをつなぐ」

《講師》西澤 真樹子(認定NPO法人大阪自然史センター職員、大阪市立自然史博物館外来研究員、てこぼさんとくぶつかん副代表、
なにわホネホネ団団長)
《司会》見藤 素子
《日時》8月26日(土) 14:00～16:00
《会場》佐賀大学教養教育2号館2109AL室
《参加者数》10人

第8回「佐賀の地域資源とミュージアム」

《講師》藤井 直紀(生物海洋学研究者(クラゲ研究者))/亀井 裕介(やながわ有明海水族館館長、佐賀大学農学部生)
《司会》花田 伸一、見藤 素子
《日時》9月2日(土) 14:00～17:00 14:00～15:00:亀井 裕介講演、15:00～16:00:藤井 直紀講演、16:00～17:00:トークセッション
《会場》佐賀大学教養教育2号館2109AL室
《参加者数》15人

《関連イベント》

トークイベント 「宇宙のはじまり、アートのはじまり」

《講師》柳 健司、橘 基

《司会》花田 伸一

《日時》2023年9月10日（日）14:00～16:00

《会場》ギャラリー2

《参加者数》29人



トークイベント 「嘉瀬川にまつわる石の物語」

《講師》阿部 浩之、藤村 美穂

《司会》花田 伸一

《日時》2023年10月1日（日）14:00～16:00

《会場》ギャラリー1

《参加者数》22人



トークイベント 「絵画と哲学、モノとコトバ、コンドウ・ゴトウ」

《講師》近藤 恵介、後藤 正英

《司会》花田 伸一

《日時》2023年10月9日（月）14:00～16:00

《会場》スタジオ

《参加者数》62人



ワークショップ 「あなたと固有名詞を持たぬ者たち（仮）」

《講師》土屋 貴哉、村久保 雅孝

《司会》花田 伸一

《日時》2023年10月15日（日）14:00～17:00

《会場》旧カフェスペース

《参加者数》34人

トークイベント 「10年後の大学美術館に向けて」

《講師》花田 伸一、藤井 康隆、見藤 素子

《日時》10月21日（土）14:00～15:30

《会場》ギャラリー1

《参加者数》15人



「美術館鑑賞アプリ「あとみる」試用イベント」

佐賀大学芸術地域デザイン学部藤井研究室と地元 IT 企業の佐賀電算センターとの共同制作により作られた、美術館鑑賞アプリ「あとみる」の試用イベントを行った。

《日時》10月21日(土) 15:30～

《会場》ギャラリー1

《参加者数》15人

《アプリ監修者》藤井 康隆

《アプリ開発企画》佐賀電算センター / 川浪 綾乃(佐賀大学芸術地域デザイン学部生) / 畠山 志穂(佐賀大学芸術地域デザイン学部生) / 山崎 奏音(佐賀大学芸術地域デザイン学部生)

《協力》花田 伸一

展覧会出品リスト

常設展示第1期「佐賀大学美術館の風景画～佐賀を探そう～」						
No.	作家名	作品名	制作年	寸法	素材	所蔵
1	久富 邦夫	ほりばた(公会堂と文化館)	1951	27.8 × 27.0cm	油彩、板	佐賀大学美術館蔵
2	久富 邦夫	呼子(初秋)	1956	42.0 × 51.0cm	油彩、キャンヴァスボード	佐賀大学美術館蔵
3	若林 景光	商工会館	1957	74.0 × 85.6cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
4	田中 宗一	古湯雄渕	1961	34.0 × 46.0cm	水彩、紙	佐賀大学美術館蔵
5	田中 宗一	古湯の岩渕(熊の川渓谷)	1964	54.0 × 72.0cm	水彩、紙	佐賀大学美術館蔵
6	若林 景光	川上の風景	1966	53.0 × 45.3cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
7	深草 廣平	入り江の教会(天草、崎津風景)	1980	130.5 × 162.5cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
8	納富 進	雲仙	不明	72.7 × 91.1cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
9	小杉 奨太	唐津城	不明	不明	油彩、キャンヴァス	佐賀大学蔵
10	山田 直行	鯨の門	不明	不明	油彩、キャンヴァス	佐賀大学蔵
11	金子 剛	有明の朝	不明	135.0 × 34.0cm	水彩、和紙	佐賀大学蔵
12	上瀧 泰嗣	田舎風景	不明	不明	油彩、キャンヴァス	佐賀大学蔵

常設展示第2期「佐賀大学美術館のコレクション大集合」						
No.	作家名	作品名	制作年	寸法	素材	所蔵
1	久富 邦夫	麦秋	不明	45.5 × 37.9cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
2	納富 進	夏の岬	不明	37.8 × 45.5cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
3	瀧 一夫	伊羅保壺	不明	22.5 × 22.5 × 31.3cm	陶器	佐賀大学美術館蔵
4	海老原 喜之助	蝶(空の蝶)	1956	55.0 × 37.2cm	リトグラフ、紙	佐賀大学美術館蔵
5	中西 利雄	H嬢像	1943	80.8 × 68.7cm	水彩、紙	佐賀大学美術館蔵
6	佐口 七朗	構成2	不明	50.0 × 55.0cm	シルクスクリーンプリント	佐賀大学美術館蔵
7	下川 都一郎	牛	不明	31.8 × 40.4cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
8	北嶋 兵一	本栖高原	1959	37.9 × 45.5cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
9	石本 秀雄	画室にて	1951	162.8 × 130.6cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
10	久富 邦夫	祭りの日	1974	162.0 × 130.3cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
11	海老原 喜之助	衣を与う	1956	80.0 × 64.8cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
12	岡田 三郎助	若き娘の顔	1913	42.4 × 34.4cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
13	斎藤 与里	婦人像	不明	90.5 × 64.5cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
14	辻 永	須磨初秋	不明	62.8 × 75.0cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
15	藤島 武二	台湾娘	不明	40.9 × 31.5cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
16	太宰 治	久富君像	不明	18.0 × 14.0cm	油彩、キャンヴァスボード	佐賀大学美術館蔵

常設展示第3期「佐賀大学美術館の資料・アーカイヴ」						
No.	作家名	作品名	制作年	寸法	素材	所蔵
1	岩永 京吉	裸婦	1963	136.0 × 90.0cm	岩絵具、紙	佐賀大学美術館蔵
2	石本 秀雄	オーバーの女	1960	145.2 × 97.3cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
3	小野 正人	パラグアイの農家	1962	33.6 × 45.7cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
4	小野 正人	金盞花	1960	40.9 × 31.8cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
5	古瀬 虎麿	あじさい	不明	41.1 × 32.1cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
6	宮地 亨	燈火小開	1965	145.5 × 97.0cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
7	宮地 亨	壱岐	不明	24.2 × 33.0cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
8	村岡 平蔵	夏の果物	不明	37.8 × 45.6cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
9	村岡 平蔵	西熱海	不明	31.9 × 40.9cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館蔵
10	田中 宗一	牡丹	1969	36.7 × 48.3cm	水彩、紙	佐賀大学美術館蔵
11	田中 宗一	紅葉 多久聖廟	1970	36.8 × 48.5cm	水彩、紙	佐賀大学美術館蔵

写真で見る佐賀大学			
No.	資料名		所蔵
1	白杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 教官集合写真 /20-1-18		白杵市教育委員会
2	白杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 十五畷橋 /20-1-21		白杵市教育委員会
3	白杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 十五畷橋 /20-1-22		白杵市教育委員会
4	白杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 学生たち /20-1-23		白杵市教育委員会
5	白杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 学生たち /20-1-24		白杵市教育委員会
6	白杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 授業風景 /20-1-30		白杵市教育委員会
7	白杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 学生たち /20-1-36		白杵市教育委員会
8	白杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 佐高正門 /20-1-37		白杵市教育委員会
9	白杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 学生たちとフレンツェル先生の娘さんたち /20-1-44		白杵市教育委員会
10	白杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 航空写真 /20-1-75		白杵市教育委員会
11	白杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 航空写真 /20-6		白杵市教育委員会
12-84	古写真		佐賀大学同窓会

ミュージアムグッズ企画プロジェクト展 SUAM' s Idea- 日常× Museum Design-				
No.	作家名	作品名	制作年	素材
1	今村 和音	女学生風バレッタ	2023	企画アイデア、商品イメージのパネル展示（実物制作物なし）
2	岡本 慧根	エイジングケア化粧水（岡田三郎助『若き娘の顔』限定パッケージ）	2023	企画アイデア、商品イメージのパネル展示（実物制作物なし）
3	神戸 愛心	アイシャドウパレット（岡田三郎助『若き娘の顔』カラー）	2023	企画アイデア、商品イメージのパネル展示（実物制作物なし）
4	杉山 伊玖海	サニタリーポーチ（influenced by 岡田三郎助『若き娘の顔』）	2023	企画アイデア、商品イメージのパネル展示（実物制作物なし）
5	辻 七望	MONOUGE NOTEBOOK 野帳×『若き娘の顔』	2023	上質紙、表紙 紙クロス貼り
6	畠山 志穂	太宰インク	2023	企画アイデア、商品イメージのパネル展示（実物制作物なし）
7	畠山 志穂	太宰ブックカバー	2023	綿、麻キナリ布
8	吉川 ちら	太宰ワールドで本を（ブックカバー・しおり）	2023	上質紙
9	津留崎 七虹	若き娘の下敷き	2023	PET
10	古川 咲	表紙カスタムノート	2023	PVC、上質紙
11	宮脇 真由	HISATOMIKUN ステッカー	2023	PET
12	宮脇 真由	SUAM T シャツ - Chrome, Line	2023	綿
13	山崎 奏音	ヒサトミくん T シャツ	2023	綿
14	山崎 奏音	ワカキムスメ T シャツ	2023	綿
15	宮脇 真由	HISATOMI トートバッグ	2023	綿、麻キナリ布
16	宮脇 真由	HISATOMI カードホルダー	2023	PET、ステンレス
17	津留崎 七虹	絵になる付箋	2023	企画アイデア、商品イメージのパネル展示（実物制作物なし）
18	山崎 奏音	付箋（久富君像）	2023	企画アイデア、商品イメージのパネル展示（実物制作物なし）
19	山崎 奏音	付箋（若き娘の顔）	2023	企画アイデア、商品イメージのパネル展示（実物制作物なし）
20	古川 咲	文豪になれるメモ帳	2023	企画アイデア、商品イメージのパネル展示（実物制作物なし）
21	高橋 美羽	久富君ブックカバー	2023	企画アイデア、商品イメージのパネル展示（実物制作物なし）

佐賀大学美術館開館 10 周年記念 響きあうアートー美の拡がり、美術の拡がりー				
No.	作家名	作品名	制作年	素材
1	阿部 浩之、藤村 美穂	石の話ーもともとの名前に近づぐために # 1	2023	凸版技法による版画、アクリル絵の具、インクジェットプリントなど
2	柳 健司、橋 基	素粒子は踊る	2023	映像（エンドレス）
3	柳 健司、橋 基	Untitled 一揺らぎ	2023	映像（エンドレス）
4	柳 健司、橋 基	Base of The World	2023	映像（エンドレス）
5	近藤 恵介	ひとときの絵画	2023	ペン、雅邦紙
6	近藤 恵介、後藤 正英	引用のテーブル	2023	岩絵具、水干、具墨、膠、ペン、鳥の子紙、雅邦紙、糊
7	近藤 恵介	私とその状況（絵画の中で / へ）	2023	岩絵具、水干、膠、墨、ペン、パネルに鳥の子紙
8	近藤 恵介	私とその状況 / 卓上の絵画（三度目の春）	2023	岩絵具、水干、膠、墨、ペン、パネルに鳥の子紙、コラージュ、糊
9	近藤 恵介	私とその状況（絵画の手と手）	2023	岩絵具、水干、膠、墨、パネルに鳥の子紙、コラージュ、糊
10	近藤 恵介	ひとときの絵画	2023	岩絵具、水干、膠、ペン、鳥の子紙、雅邦紙など
11	近藤 恵介	ひと時の絵画ーこれまでの紙片	2017-2023	岩絵具、水干、膠、ペン、鳥の子紙、雅邦紙
12	近藤 恵介	ひとときの絵画	2023	墨、棒絵具、鳥の子紙
13	近藤 恵介	ひとときの絵画	2023	墨、鳥の子紙、岩絵具の具
14	近藤 恵介	ひとときの絵画	2023	染料、絹、岩絵具の具、水干、膠、墨、雅邦紙、糊
15	近藤 恵介、後藤 正英	引用集	2023	コピー紙（A 3）12 枚、コピー紙（A 4）1 枚
16	近藤 恵介	後藤氏像	2023	墨、具墨、膠、紙片のコラージュ、雅邦紙
17	土屋 貴哉、村久保 雅孝	固有名詞を持たぬ者たち（佐賀大学美術館）	2023	文字
18	土屋 貴哉、村久保 雅孝	Unnamed	2023	アクリル、木
19	土屋 貴哉、村久保 雅孝	固有名詞を持たぬ者たちー振り出しに戻った人	2023	鉛、木製パネル
20	土屋 貴哉、村久保 雅孝	固有名詞を持たぬ者たちー薄目あけて隠れる子	2023	鉛、木製パネル
21	土屋 貴哉、村久保 雅孝	固有名詞を持たぬ者たちー期待と逆の言葉をくれた人	2023	鉛、木製パネル
22	土屋 貴哉、村久保 雅孝	固有名詞を持たぬ者たち（仮）	2023	ワークショップ

2-2. 展示記録（共催展）

「第29回重要無形文化財保持団体秀作展 日本の伝統美と技の世界」

《概要》

国から認定を受けた16団体と関係する24の市町村で構成された、全国重要無形文化財保持団体の成果を年に一度各地で披露する秀作展。高度な工芸技術を駆使して作られた作品が一堂に会した。会期中には本学の学生制作のドキュメンタリーの上映や、技術保存会による制作実演、特別体験コーナーや伊勢型紙しおり制作ワークショップなどが設けられた。

《会期》2023年11月9日（木）～11月26日（日）

《開館日数》16日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》全国重要無形文化財保持団体協議会、全国重要無形文化財保持団体協議会佐賀・有田大会実行委員会

《共催》有田町・有田町教育委員会、柿右衛門製陶技術保存会・色鍋島今右衛門技術保存会、国立大学法人佐賀大学

《後援》佐賀県

《入館者数》2,166人



2-3. 展示記録（申請企画）

No.	事業名	会期（日数）	会場	主催（後援ほか）
1	佐賀大学アカペラサークル「Score!!」によるミニライブ	4月19日（水）、4月26日（水） 2日間	プロムナード	アカペラサークル Score !!
2	うるし展	7月5日（水）～7月9日（日） 5日間	ギャラリー1、2、スタジオ、 中庭	佐賀大学芸術地域デザイン学部 漆・木工専攻
3	管弦楽団演奏	7月14日（金） 1日	プロムナード	佐賀大学管弦楽団
4	博物館学内実習 特別講義 文化庁委託事業文化遺産保護拠点交流事業：アルメニア共和国エチミアジン大聖堂附属博物館の活動と日本文化遺産保護の国際協力	7月25日（火） 1日	ギャラリー2	佐賀大学芸術地域デザイン学部
5	令和5年度 芸術地域デザイン学部 共通基礎成果発表展	8月3日（木）～8月10日（木） 6日間	ギャラリー1、2、スタジオ、 中庭、旧カフェスペース	佐賀大学芸術地域デザイン学部
6	第46回 二紀佐賀支部展	8月23日（水）～8月27日（日） 5日間	ギャラリー1、2、スタジオ	一般社団法人二紀会佐賀支部
7	写真部 学祭写真展	10月28日（土）～10月29日（日） 2日間	小展示室、歴史展示スペース	佐賀大学写真部
8	第64回 佐賀県学童美術展	12月2日（土）～12月6日（水） 4日間	ギャラリー1、2、スタジオ	佐賀県造形教育研究会（後援：佐賀県教育委員会）
9	璞友会展	12月5日（火）～12月10日（日） 6日間	特別展示室、小展示室、歴史展示スペース	璞友会（後援：文字文化研究会）
10	もくいく展	12月9日（土）～12月14日（木） 5日間	ギャラリー1、2	佐賀大学芸術地域デザイン学部地域創成フィールドワーク木製玩具班（後援：認定NPO法人とす市民活動ネットワーク）
11	第8回 児童生徒作品展	12月21日（木）～12月23日（土） 3日間	ギャラリー1、2	佐賀大学教育学部附属特別支援学校
12	カルチュラルフェスティバル	1月12日（金） 1日	ギャラリー1、2、スタジオ、 旧カフェスペース	国際交流推進センター
13	じぶんきてん	1月17日（水）～21日（日） 5日間	ギャラリー1、2	Hermits
14	第48回佐賀県高等学校書道教師作品展 併設 県高校臨書展生徒優秀作品展	1月24日（水）～1月28日（日） 5日間	ギャラリー1、2、スタジオ	佐賀県高等学校教育研究会書道部会
15	スタスタ、すどん	1月24日（水）～2月2日（金） 9日間	小展示室、歴史展示スペース	佐賀大学芸術地域デザイン学部 日本画専攻他有志
16	肖像展	1月31日（水）～2月2日（金） 3日間	ギャラリー2、スタジオ	佐賀大学芸術地域デザイン学部 キュレーション応用Ⅱ
17	小さな芸術家たちのアート展	2月2日（金）～2月3日（土） 2日間	ギャラリー1、中庭	おへそこども学園
18	2023年度佐賀大学芸術地域デザイン学部卒業制作・大学院地域デザイン研究科修了制作作品展	2月10日（土）～2月18日（日） 8日間	ギャラリー1、2、スタジオ、 中庭、小展示室、プロムナード、 旧カフェスペース	佐賀大学芸術地域デザイン学部、佐賀大学大学院地域デザイン研究科
19	佐賀大学 学生書作品展	2月29日（木）～3月3日（日） 4日間	ギャラリー1、2	佐賀大学書道同好会
20	芸術地域デザイン学部8期生 すえひろがり	3月5日（火）～3月16日（土） 10日間	小展示室、歴史展示スペース	佐賀大学芸術地域デザイン学部8期生有志
21	刺繍をほどく	3月6日（水）～3月17日（日） 10日間	ギャラリー1、2、スタジオ	佐賀大学芸術地域デザイン学部 西洋画専

3. 視察・見学・実習受け入れ

〔視察・見学〕

日時	団体名	人数	日時	団体名	人数
4月19日	令和5年度佐賀大学新採用職員研修	不明	12月9日	放課後等デイサービスしーど	15
5月13日	佐賀大学農学部同窓会 OB	16	12月12日	佐賀市立本庄幼稚園(年長・年中)	19
6月15日	日本学術振興会	4	12月13日	佐賀市立本庄幼稚園(年少)	24
6月21日	福岡県立糸島高等学校	77	12月21日	三潯校区まちづくり振興会(久留米市)	20
7月11日	佐賀県立唐津西高等学校 PTA	22	12月23日	指定障害者支援施設めぐみ園	14
7月12日	私立筑紫女学園高等学校	51	1月5日	佐賀県フィルムコミッション	7
7月26日	学校法人 佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	22	1月16日	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	6
8月24日	佐賀市立城東中学校 夢の種まき(YUMETANE)プロジェクト	35	1月17日	佐賀ランゲージセンター	22
9月1日	長崎県立大村高等学校 PTA	20	1月24日	佐賀県立佐賀北高等学校書道部1年生	7
9月15日	私立飯塚高等学校	12	1月25日	私立佐賀清和高等学校	31
10月11日	福岡県立大川樟風高等学校 PTA	13	1月26日	佐賀県立佐賀西高等学校2年生	37
10月12日	福岡県立筑前高等学校 PTA	33	1月26日	私立佐賀清和高等学校	18
10月13日	九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議	13	1月26日	佐賀県立佐賀東高等学校	9
10月21日	公益社団法人経済同友会	20	2月2日	幼児連携型認定こども園おへそこども園	72
10月31日	清風大学 16期生	10	2月2日	企業主導型保育園おへそつながり	21
11月14日	100才会(有田町)	16	2月17日	佐賀市立城東中学校	12
11月17日	有田町生涯学習課	23	2月28日	佐賀県白石町立六角小学校6年1組	18
11月17日	有田いずみ山いきいき体操クラブ	21	3月13日	佐賀県立佐賀西高等学校1年生	67
11月22日	佐賀県立唐津東中学校	83	3月15日	佐賀県立佐賀西高等学校2年生	17
12月5日	佐賀大学教育学部附属小学校1年生	107			
12月6日	佐賀大学教育学部附属小学校3年生	42			

2023年4月19日～2024年3月15日

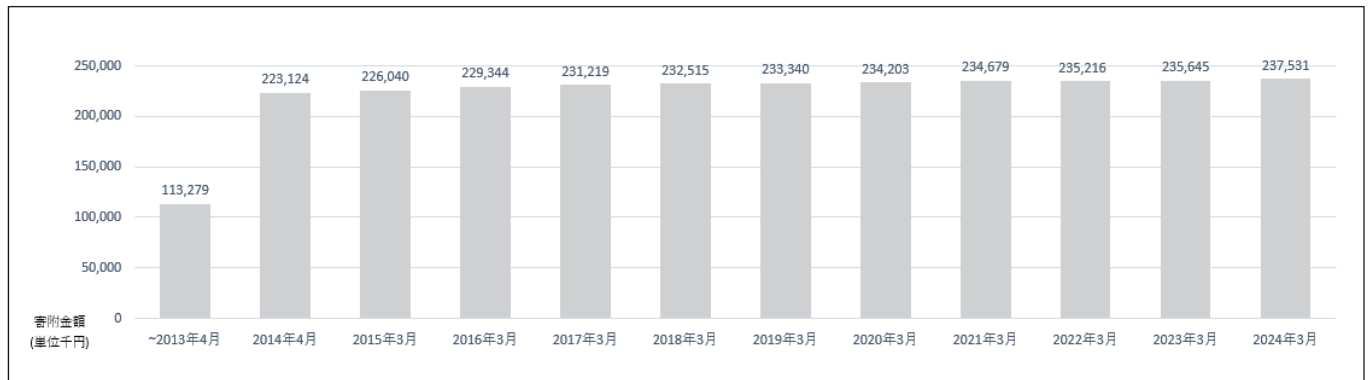
〔実習受け入れ〕

名称	期間	人数	会場
佐賀大学教育学部附属中学校 職場体験学習	2023年9月21日(木)～22日(金) 9:00～15:30	2	
展示・ライティング実習(佐賀大学芸術地域デザイン学部)	2024年1月16日(火) 10:00～12:00	25	小展示室、歴史展示スペース

4. 寄附

〔美術館設置募金の経緯〕

- 2011年6月 美術館設置募金 WG 設置
- 2012年4月 美術館設置事業募金開始
- 2013年6月 寄附者芳名帳を公開
美術館規則の制定に伴い、美術館設置募金 WG を解散
- 9月 美術館に高額寄附者銘板を設置
- 10月 美術館開館後も美術館設置事業募金を継続
- 2024年3月 募金総額 237,531,380 円（2024年3月31日現在）



5. 所蔵資料

令和5年度に佐賀大学の所蔵となった物品の内、佐賀大学美術館が保管もしくは管理する作品

作家名	作品名	分類	制作年	寸法(高さ×幅×奥行)	素材	区分
山本民二 YAMAMOTO Tamiji	無題(田中艸太郎像) Untitled (Statue of Sotaro Tanaka)	彫刻	不明(1993年以降)	本体: 32.0 × 24.0 × 23.5cm 台座: 18.8 × 14.0 × 14.0cm	本体: ブロンズ、台座: 御影石	寄贈

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計
西洋画	1	24	13	10	0	2	1	5	2	0	0	58
日本画	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
彫刻	0	1	5	3	0	0	0	0	0	0	1	10
水彩画	0	1	1	0	4	0	0	0	0	0	0	6
工芸(窯芸)	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4
工芸(金工)	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	4
工芸(染色)	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	5
デザイン	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
版画	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
素描	0	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	6
資料	0	3	0	2	0	0	7	0	0	0	0	12
合計	2	34	31	15	9	4	8	7	2	0	1	113

6. 刊行物

刊行物なし

7. 関連記事

掲載日	媒体名	記事名	関連事業名
6月15日	佐賀新聞	佐賀大学美術館 開館10周年に向け講演企画9月まで、全8回	10周年記念トーク
8月8日	佐賀新聞	佐賀大学美術館に「あったらいいな」学生がグッズを創作、展示 太宰治や岡田三郎助の絵モチーフに	ミュージアムグッズ企画
9月4日	読売新聞	全国で唯一の国立総合大学にある美術館…「芸術が普通に身の回りにあるものに」	10周年記念展
9月7日	読売新聞	太宰治が描いた油彩画「久富君像」に文学愛好家も注目…佐賀大美術館で展示	常設展
9月12日	佐賀新聞	さが博物館めぐり 開館10年、地域文化交流後押し	常設展、10周年記念展
9月14日	読売新聞	佐賀大学美術館 開館10周年展 学部横断 教員ペアで制作	10周年記念展
9月19日	佐賀新聞	佐賀大学美術館 10周年記念展	10周年記念展
11月10日	佐賀新聞	佐賀大で「伝統美と技の世界」展	全国重要無形文化財
12月8日	文教速報	佐賀大美術館来館者が30万人突破	運営
1月30日	佐賀新聞	さが博物館めぐり 2023年度佐賀大学卒業・修了作品展	卒業制作・修了制作展

8. 入館者一覧

※数値に重複あり

展覧会名	入場者数	会期	日数	主催	会場
常設展示 第1期	4,469	4月4日～7月23日	96	佐賀大学美術館	特別展示室
チラシ・ポスターで紐解く佐賀大学美術館10年史	3,186	4月11日～6月25日	66	佐賀大学美術館	ギャラリー1
写真で見る佐賀大学	3,186	4月11日～6月25日	66	佐賀大学美術館	歴史展示スペース
展示ができるまで Vol.2	3,186	4月11日～6月25日	66	佐賀大学美術館	ギャラリー2
うるし展	488	7月5日～7月9日	5	佐賀大学 芸術地域デザイン学部 漆・木工専攻	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、中庭
ミュージアムグッズ企画プロジェクト展 SUAM's Idea-日常×Museum Design-	3,024	7月25日～8月27日	24	佐賀大学美術館	小展示室
博物館学内実習 特別講義 文化庁委託事業文化遺産保護拠点交流事業： アルメニア共和国エチミアジン大聖堂付属博物館の活動と日本文化遺産保護の国際協力	161	7月25日	1	芸術地域デザイン学部（石井美恵准教授）	ギャラリー2
常設展示 第2期	8,396	8月3日～10月31日 11月9日～11月26日	89	佐賀大学美術館	特別展示室
令和5年度 芸術地域デザイン学部 共通基礎 成果発表展	1,756	8月3日～8月10日	6	芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、中庭、旧カフェスペース
第46回 二紀佐賀支部展	798	8月23日～8月27日	5	二紀佐賀支部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
佐賀大学美術館10周年記念展－響きあうアートー	2,901	9月9日～10月22日	38	佐賀大学美術館	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、旧カフェスペース、中庭
写真部 学祭写真展	468	10月28日～10月29日	2	佐賀大学写真部	小展示室、歴史展示スペース
第29回重要無形文化財保持団体秀作展 日本の伝統美と技の世界	2,166	11月9日～11月26日	16	全国重要無形文化財保持団体協議会 実行委員会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
第64回 佐賀県学童美術展	1,595	12月2日～12月6日	4	佐賀県造形教育研究会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
璞友会展	905	12月5日～12月10日	6	璞友会	特別展示室、小展示室、歴史展示スペース
もくいく展	814	12月9日～12月14日	5	佐賀大学芸術地域デザイン学部地域 創成フィールドワーク木製玩具班	ギャラリー1、ギャラリー2
第8回 児童生徒作品展	112	12月21日～12月23日	3	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	ギャラリー1、ギャラリー2
常設展示 第3期	6,379	12月22日～3月24日	69	佐賀大学美術館	特別展示室
カルチュラルフェスティバル	213	1月12日	1	国際交流推進センター	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、旧カフェスペース
じぶんきてん	320	1月17日～1月21日	5	Hermits	ギャラリー1、ギャラリー2
第48回佐賀県高等学校書道教師作品展 併設 県高校臨書展生徒優秀作品	1,008	1月24日～1月28日	5	佐賀県高等学校教育研究会書道部会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
スタスタ、すといん	1,415	1月24日～2月2日	9	芸術地域デザイン学部 日本画専攻 他有志	小展示室、歴史展示スペース
肖像展	328	1月31日～2月2日	3	キュレーション応用Ⅱ	ギャラリー2、スタジオ
小さな芸術家たちのアート展	354	2月2日～2月3日	2	おへそこども学園	ギャラリー1、中庭
2023年度 佐賀大学芸術地域デザイン学部卒業制作・修了制作作品展	1,969	2月10日～2月18日	8	佐賀大学 芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、中庭、小展示室、プロムナード、旧カフェスペース
佐賀大学 学生書作展	450	2月29日～3月3日	4	佐賀大学書道同好会	ギャラリー1、ギャラリー2
芸術地域デザイン学部8期生 すえひろがり	1,035	3月5日～3月16日	10	芸術地域デザイン学部 8期生有志	小展示室、歴史展示スペース
刺繍をほどく	996	3月6日～3月17日	10	芸術地域デザイン学部 西洋画専攻	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

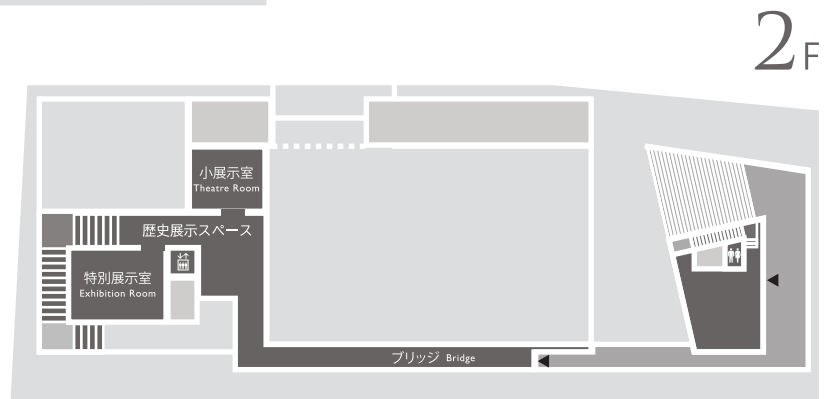
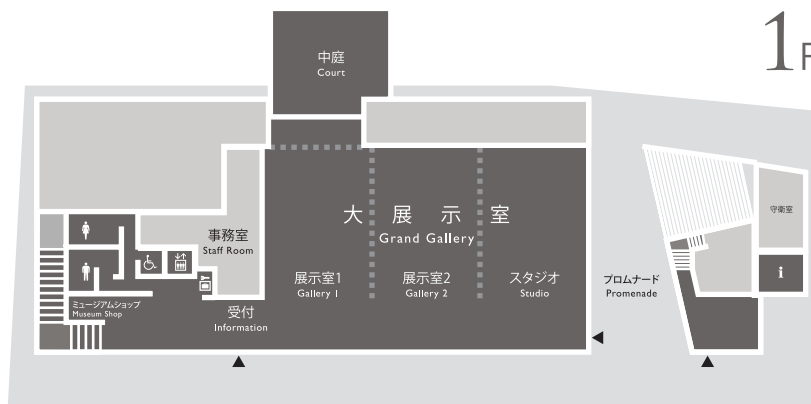
※数値に重複なし

	総入館者数	うち有料入館者数	開館日数
2013年度	27,167	0	125
2014年度	40,780	2,652	254
2015年度	37,965	0	281
2016年度	38,474	0	291
2017年度	34,718	0	285
2018年度	31,883	0	273
2019年度	30,698	0	280
2020年度	13,929	0	140
2021年度	17,459	0	271
2022年度	15,295	0	234
2023年度	22,220	0	272

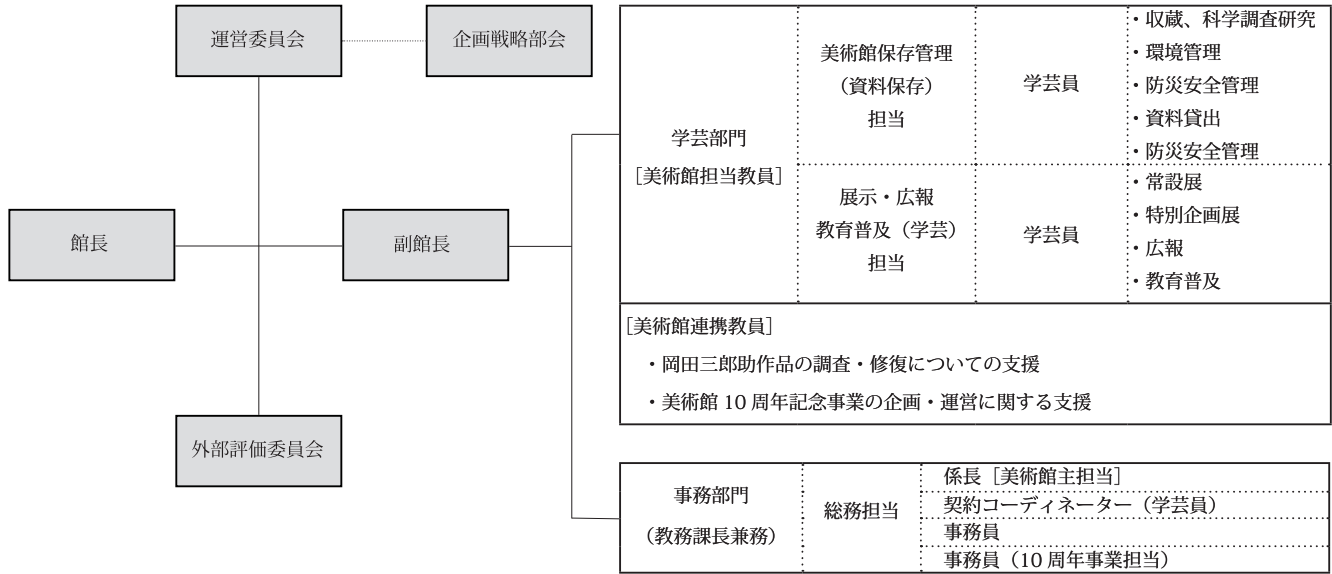
9. 運営に関する資料

〔館概要〕

名 称	佐賀大学美術館
所 在 地	佐賀市本庄町1番地
基本設計	佐賀大学
実施設計	(株) 梓設計九州支社 [協力:(株) ワークヴィジョンズ]
監 理	佐賀大学環境施設部
施 工	建築: 金子建設(株) 電気: (株) 佐電工 機械: (株) 九電工
構 造	鉄骨造・地上2階建
延床面積	1,502㎡
展示面積	462㎡ ギャラリー1 106㎡ ガラリー2 106㎡ スタジオ 111㎡ 特別展示室 48㎡ 小展示室 34㎡ 歴史展示スペース 57㎡
そ の 他	プロムナード 中庭 ブリッジ
設 備	トイレ 多目的トイレ ロッカー



〔組織図〕



〔職員〕

館長	渡 孝則
副館長	徳安 和博
係長	黒木 幸代
契約コーディネーター	五十嵐 純
(学芸員) (令和6年2月1日～)	
事務員	牧野 恵莉聖
(令和5年11月1日～令和6年3月31日)	
事務補佐員 (学芸員)	見藤 素子
事務補佐員	吉丸 マチ子
事務補佐員	樺山 朋子

美術館担当教員	藤井 康隆
美術館連携教員	石井 美恵
美術館連携教員	花田 伸一

〔企画戦略部会委員〕

リーダー	理事	渡 孝則
委員	教授	徳安 和博
委員	准教授	花田 伸一
委員	准教授	藤井 康隆
委員	学務部長	高橋 かおり
委員	係長	黒木 幸代
委員	学芸員	五十嵐 純
委員	学芸員	見藤 素子

〔運営委員〕

委員長 (館長)	理事	渡 孝則
副委員長	理事	石田 雄三
		(～令和5年9月30日)
副委員長 (副館長)	教授	徳安 和博
副委員長	学務部長	高橋 かおり
		(令和5年10月1日～)
委員	理事	山下 宗利
委員	教授	栗山 裕至
委員	准教授	鳥谷 さやか
		(～令和5年9月30日)
委員	准教授	井川 健
		(令和5年10月1日～)
委員	准教授	谷口 みゆき
委員	教授	山田 小織
委員	教授	佐藤 和也
		(～令和5年9月30日)
委員	教授	橘 基
		(令和5年10月1日～)
委員	准教授	吉賀 豊司
		(～令和5年9月30日)
委員	准教授	近藤 文義
		(令和5年10月1日～)
委員	学務部長	高橋 かおり
		(～令和5年9月30日)
委員	佐賀大学同窓会長	水田 和彦
委員	財務部長	神達 進

〔佐賀大学美術館規則〕

佐賀大学美術館規則

(平成25年6月26日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人佐賀大学基本規則(平成16年4月1日制定。以下「基本規則」という。)第19条の2第2項の規定に基づき、佐賀大学美術館(以下「美術館」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 美術館は、佐賀大学(以下「本学」という。)の目的、使命にのっとり、本学の教育、研究、社会貢献等の諸活動を支援するため、必要な芸術資料等を収集、保存、管理及び調査し、並びに展示公開することを目的とする。

(協力体制)

第3条 美術館は、前条の目的を実現するため、必要な組織、施設及び他の大学美術館等との協力体制を整備する。

(美術館長)

第4条 美術館に、基本規則第30条の2第1項の規定に基づき、美術館長(以下「館長」という。)を置く。

2 館長は、副学長のうちから学長が指名した者をもって充てる。

3 館長は、美術館の業務をつかさどり、美術館の職員を統督する。

4 館長の任期は2年とし、再任を妨げない。

5 館長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副館長)

第5条 美術館に、基本規則第30条の2第2項の規定に基づき、副館長を置く。

2 副館長は、本学の専任の教授のうちから館長が指名した者をもって充てる。

3 副館長は、館長を助け、美術館の業務を整理する。

4 副館長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、当該副館長を指名した館長の任期の終期を超えることはできない。

5 副館長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(美術館運営委員会)

第6条 美術館に、その管理運営に関する重要な事項を審議するため、佐賀大学美術館運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。

2 運営委員会に関し、必要な事項は、別に定める。

(事務)

第7条 美術館の事務は、学務部教務課が行う。

(美術館の利用)

第8条 美術館の利用に関し、必要な事項は、別に定める。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館に関し、必要な事項については、運営委員会の議を経て、館長が定める。

附 則

1 この規則は、平成25年6月26日から施行する。

2 この規則施行後最初に指名される館長及び副館長の任期は、第4条第4項及び第5条第4項の規定にかかわらず、平成25年9月30日までとする。

附 則(平成27年3月26日改正)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月28日改正)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

〔佐賀大学美術館運営委員会規程〕

佐賀大学美術館運営委員会規程

(平成25年6月26日制定)

(趣旨)

第1条 この規程は、佐賀大学美術館規則(平成25年6月26日制定)第6条第2項の規定に基づき、佐賀大学美術館運営委員会(以下「委員会」という。)に関し、必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 佐賀大学美術館(以下「美術館」という。)の運営に関する事項
- (2) 美術館の諸規程の制定及び改廃に関する事項
- (3) 美術館の予算に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 館長
- (2) 副館長
- (3) 各学部から選出された者 各1人
- (4) 学務部長
- (5) 学外の有識者 若干人
- (6) その他第1号の館長が指名した者 若干人

(任期)

第4条 前条第3号及び第5号の委員の任期は、2年とする。

- 2 前条第3号及び第5号の委員に欠員が生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、第3条第1号の委員をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員のうち委員長が指名した者をもって充てる。
- 4 副委員長は、委員長を助け、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開き、議決をすることができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門委員会)

第7条 委員会に、専門的事項を審議するため、専門委員会を置くことができる。

- 2 専門委員会の組織及び運営については、別に定める。

(事務)

第8条 委員会の事務は、学務部教務課が行う。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て、委員長が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成25年6月26日から施行する。
- 2 この規程施行後最初に選出される第3条第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成27年9月30日までとする。

附 則(平成30年3月28日改正)

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(令和元年11月29日改正)

この規程は、令和元年11月29日から施行し、令和元年10月1日から適用する。

〔佐賀大学美術館利用規程〕

佐賀大学美術館利用規程

(平成25年10月28日制定)

(趣旨)

第1条 この規程は、佐賀大学美術館規則(平成25年6月26日制定)第8条の規定に基づき、佐賀大学美術館(以下「美術館」という。)の利用について必要な事項を定めるものとする。

(利用の種類)

第2条 この規程において「利用」とは、次の各号に掲げるものをいう。

- (1) 美術館資料の観覧
- (2) 美術館施設、設備等の使用
- (3) 美術館資料の閲覧、貸出等

(利用者)

第3条 この規程において「利用者」とは、次の各号に掲げるものをいう。

- (1) 国立大学法人佐賀大学(以下「本法人」という。)の学生及びこれに準ずる者
- (2) 本法人の教職員及びこれに準ずる者
- (3) 学外者

(開館日)

第4条 美術館は、次の各号に掲げる日を除き、開館する。

- (1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その翌日を休館とする。
- (2) 月曜日が休日に当たり、かつ、引き続き火曜日以降も休日に当たるときは、前号の規定にかかわらず、連続する休日の翌日を休館とする。
- (3) 夏季一斉休業日
- (4) 年末年始期間
- (5) 展示替期間等

2 美術館長(以下「館長」という。)が必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、開館又は休館することができる。

(開館時間)

第5条 美術館の開館時間は、午前10時から午後5時までとする。

2 館長が必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、臨時に開館時間を変更することができる。

(観覧料)

第6条 美術館の観覧料は、別に定める場合を除き、無料とする。

(施設、設備等の使用)

第7条 館長は、利用者で構成される団体が教育、研究、美術作品の展示等のため、美術館の施設、設備等の使用を願い出た場合、美術館の本来の用途及び目的を妨げない範囲において、次に掲げる施設、設備等の使用を許可することができる。

- (1) ギャラリー1
- (2) ギャラリー2
- (3) スタジオ
- (4) 中庭
- (5) 小展示室
- (6) プロムナード

2 施設、設備等の使用料の算定は、国立大学法人佐賀大学不動産貸付取扱細則(平成16年8月1日制定)によるものとする。施設、設備等の使用に関し、必要な事項は、別に定める。

(美術館資料)

第8条 この規程において「美術館資料」とは、美術館が所蔵する次の各号に掲げるものをいう。

- (1) 美術資料
- (2) 模本資料
- (3) 標本資料
- (4) 複製資料
- (5) 写真資料
- (6) 録画・デジタル資料
- (7) その他の資料

(閲覧)

第9条 館長は、利用者が教育、研究又は学習のため、美術館資料の閲覧を願い出た場合、美術館の本来の用途及び目的を妨げない範囲において、美術館資料の閲覧を許可することができる。

2 美術館資料の閲覧に関し、必要な事項は、別に定める。

(貸出)

第10条 館長は、利用者が教育、研究又は学習のため、美術館資料の貸出を願い出た場合、美術館の本来の用途及び目的を妨げない範囲において、美術館資料の貸出を許可することができる。

2 美術館資料の貸出に関し、必要な事項は、別に定める。

(模写及び模刻)

第11条 館長は、利用者が教育、研究又は学習のため、美術館資料の模写及び模刻を願い出た場合、美術館の本来の用途及び目的を妨げない範囲において、美術館資料の模写又は模刻を許可することができる。

2 美術館資料の模写及び模刻に関し、必要な事項は、別に定める。

(写真撮影等)

第12条 館長は、利用者が教育、研究又は学習のため、美術館資料の写真撮影、映画撮影(テレビジョン及びビデオ撮影を含む。)、複製等(以下「撮影等」という。)を願い出た場合、美術館の本来の用途及び目的を妨げない範囲において、美術館資料の撮影等を許可することができる。

2 美術館資料の撮影等に関し、必要な事項は、別に定める。

(撮影・出版の許可等)

第13条 館長は、利用者が教育又は研究に寄与するため、美術館資料の撮影・出版を願い出た場合は、美術館の本来の用途及び目的を妨げない範囲において、美術館資料の撮影・出版を許可することができる。

2 美術館資料の撮影・出版の許可及び条件に関し、必要な事項は、別に定める。

(寄贈)

第14条 館長は、美術作品を寄贈しようとする者があるときは、美術館の本来の用途及び目的を妨げない範囲において、これを受け入れることができる。

2 美術作品の寄贈に関し、必要な事項は、別に定める。

(保存修復)

第15条 館長は、美術館資料の保存修復に当たっては、佐賀大学美術館運営委員会(以下「運営委員会」という。)に諮り、実施するものとする。

2 美術館資料の保存修復に関し、必要な事項は、別に定める。

(利用の停止等)

第16条 館長は、必要があるときは、第9条から第13条までの規定により利用中の美術館資料について、美術館職員をして調査させ、利用の停止、期間の制限又は許可の取消等必要な処置を講ずることができる。

(弁償義務)

第17条 利用者は、利用中の美術館資料を汚損若しくは亡失したとき又は美術館の施設、設備等に損害を与えたときは、これを弁償しなければならない。

(館内規律)

第18条 利用者は、美術館の利用に関する規律について、館長の指示に従わなければならない。

(利用の制限)

第19条 館長は、次の各号のいずれかに該当する利用者に対して、美術館の利用停止又は禁止の措置を講ずることができる。

- (1) 美術館内で喫煙や飲食をすること。
 - (2) 騒音を出したり、泥酔等により他人に危害又は迷惑をかけること。
 - (3) 凶器や危険物を持ち込み又は持ち込もうとすること。
 - (4) 資料、機器又は施設を汚損又はき損しようとする事。
 - (5) 館長の許可を得ず、掲示又は張り紙をすること。
 - (6) 前各号のほか美術館内の秩序を乱し、又は乱すおそれのあること。
- 2 前項により美術館の利用停止又は禁止の措置を受けた利用者は、館長が指定する期限までに美術館を退去しなければならない。

(雑則)

第20条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成25年10月28日から施行する。

附 則(平成26年4月30日改正)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

〔佐賀大学美術館施設等使用細則〕

佐賀大学美術館施設等使用細則

(平成25年10月28日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学美術館(以下「美術館」という。)の施設及び設備等の使用(以下「施設等の使用」という。)については、佐賀大学美術館利用規程(平成25年10月28日制定)、国立大学法人佐賀大学不動産管理規程(平成16年4月1日制定)及び国立大学法人佐賀大学不動産貸付取扱細則(平成16年8月1日制定)に定めがあるもののほか、この細則の定めるところによる。

(使用の条件)

第2条 美術館の施設等の使用は、佐賀大学(以下「本学」という。)の目的、使命のっとり、本学の教育、研究、社会貢献などの諸活動を支援するものであり、かつ、美術館の本来の用途及び目的を妨げないものでなければならない。

(使用の区分)

第3条 前条の目的に鑑み、美術館の施設等の使用を認める事業を次の各号に掲げるとおり区分する。

- (1) 主催事業 美術館が単独で、企画立案及び運営を行い、必要な経費を支出するもの
- (2) 共催事業 美術館が美術館以外の団体と共同で、企画立案並びに運営を行い、必要な経費を支出するもの
- (3) 後援事業 前2号以外の事業で、美術館長(以下「館長」という。)が、適当と認めるもの

(使用者)

第4条 美術館の施設等を使用できる者は、次の各号に掲げるもので構成される団体とする。

- (1) 本学の学生及びこれに準ずる者
- (2) 本学の教職員及びこれに準ずる者
- (3) 学外者

(使用施設)

第5条 美術館の使用できる施設は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) ギャラリー1
- (2) ギャラリー2
- (3) スタジオ
- (4) 中庭
- (5) 小展示室
- (6) プロムナード

(使用設備等)

第6条 美術館の使用できる設備等に関し、必要な事項は、別に定める。

(使用期間等)

第7条 美術館の施設等を後援事業として使用できる期間は、1週間(休館日を除く6日間)を単位とし、最長3週間までとする。

- 2 美術館の施設等の使用期間には、搬入から搬出までのすべての作業を含むものとする。
- 3 美術館の施設等の使用時間は、開館時間内とする。

(使用申込等)

第8条 美術館の施設等の使用を希望する者は、所定の申請書を美術館事務室に提出し、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

- 2 前項の申請書の提出は、美術館が実施する公募に基づき行うものとし、公募時に示された期限までに行わなければならない。

(使用上の注意)

第9条 使用者は、美術館の施設等の使用に際しては、別に定める美術館展示室等使用案内に記載した事項を遵守するほか、あらかじめ使用許可書を美術館事務室に提出し、その使用上の指示に従わなければならない。

- 2 使用者が前項の規定を遵守しない場合は、その使用許可を取り消し、又は以降の使用を許可しないことがある。

(施設等の保全)

第10条 使用者は、美術館の施設、設備等の保全に留意し、常に正常な状態で使用しなければならない。

- 2 使用者は、防火、保健衛生及び災害防止等に留意し、快適な環境の保持に努めなければならない。
- 3 使用者は、故意又は過失により施設、設備等を滅失、破損又は汚損したときは、これを原状に回復し、又は原状回復に必要な経費を賠償しなければならない。

(経費の負担方法等)

第11条 第5条に定める施設及び第6条の設備等の使用料並びにこれらの使用に伴う光熱水料については、国立大学法人佐賀大学料金規程(平成16年4月1日制定)によるものとし、使用料及び光熱水料の負担方法のほか、必要な事項は別に定める。

- 2 前項に定めるもののほか、館長が特に必要と認める場合、使用者に対し、別途経費を請求することができるものとし、必要な事項は別に定める。

(退館処置)

第12条 美術館職員は、使用者が美術館展示室等使用案内に記載した事項を無視し、又は他に迷惑を及ぼす行為があると認めるときは、速やかに退館を命ずるものとする。

(雑則)

第13条 この細則に定めるもののほか、美術館の使用に関し、必要な事項は、佐賀大学美術館運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

附 則

この細則は、平成25年10月28日から施行する。

附 則 (平成26年3月3日改正)

この細則は、平成26年3月3日から施行する。

附 則 (平成26年6月30日改正)

この細則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年3月28日改正)

この細則は、平成31年4月1日から施行する。

〔佐賀大学美術館寄贈・寄託専門委員会要項〕

佐賀大学美術館寄贈・寄託専門委員会要項

(平成26年10月14日制定)

(設置)

第1 佐賀大学美術館運営委員会に、佐賀大学美術館運営委員会規程(平成25年6月26日制定)第7条第2項の規定に基づき、美術館への芸術資料の寄贈寄託に関し、必要な事項を審議するために、佐賀大学美術館寄贈・寄託専門委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(任務)

第2 委員会は、美術館が寄贈・寄託により取得する美術品に関し、個人又は団体等からの受入れについて審議する。

(組織)

第3 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 館長
- (2) 副館長
- (3) 美術館から選出された学芸員 1人
- (4) その他館長が必要と認めた者 若干人

(任期)

第4 第3第4号の委員の任期は2年とする。

2 第3第4号の委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会)

第5 委員会に委員長を置き、第3第1号の委員をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。
- 4 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第6 委員会の事務は、学務部教務課が行う。

(その他)

第7 この要項に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この要項は、平成26年10月14日から実施する。

2 この要項実施後最初に選出される第3第4号の委員の任期は、第4第1項の規定にかかわらず、平成27年3月31日までとする。

佐賀大学美術館 紀要

2023

佐賀大学美術館開館 10 周年記念展

『響きあうアート —美の拡がり、美術の拡がり—』のその後

花田 伸一

キュレーター／佐賀大学芸術地域デザイン学部教授

2023 年度に佐賀大学美術館が開館 10 周年を迎えるにあたり、その特別記念事業全体の企画監修を筆者が担当した。大きく＜理論編＞＜実践編＞の二部構成とし、＜理論編＞として 2023 年 6 月～9 月に開催したトークシリーズ『地域・歴史・芸術 私たちは何をどう保存するのか？』では、他大学や他博物館が取り組んでいる分野横断的な事例について計 10 名のゲスト講師に話してもらった。＜実践編＞として 2023 年 9 月に開催したグループ展『響きあうアート —美の拡がり、美術の拡がり—』では、学内の美術の専門家と学内の他分野の専門家とで 4 組のペアを組んでもらい、それぞれ分野横断的なプロジェクトおよび展示に取り組んでもらった。両事業の詳細は同事業記録集に譲り、本稿では＜実践編＞『響きあうアート』展以降の 4 ペアのその後について報告したい。

(以下の教員肩書は 2024 年度時点のもの)

■美術×物理学

柳健司 (佐賀大学芸術地域デザイン学部芸術表現コース教授)

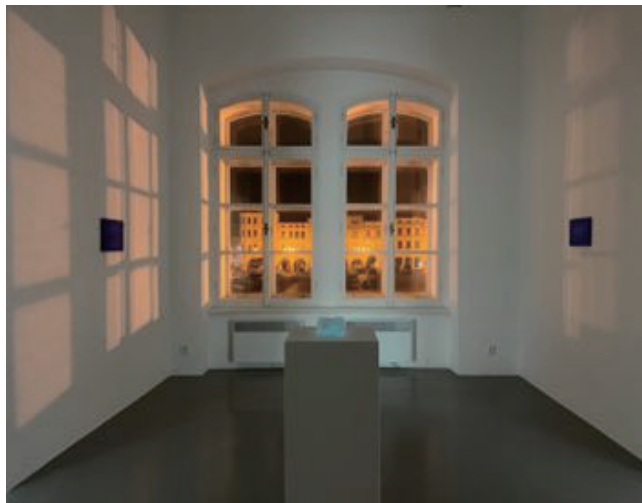
橘基 (佐賀大学理工学部理工学科物理学部門教授)

○柳健司…ヨーロッパにて展示

柳は『響きあうアート』出品作を含む展覧会を Hebel_121 (スイス・バーゼル、2024 年 9 月 7 日～10 月 19 日) にて開催。また、チェコ共和国では House of Arts Ceske Budejovice (チェスケー・ブジェヨヴィツェ、2025 年 3 月 20 日～5 月 4 日) と Kvalitar Gallery (プラハ、2025 年 3 月 27 日～6 月 14 日) で開催された展覧会は『響きあうアート』にも通じる素粒子や放射能に関するコンセプトで展示が構成された。



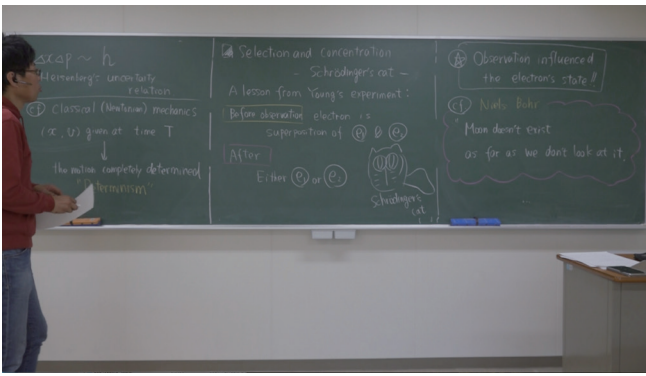
Hebel 121 展示場風景



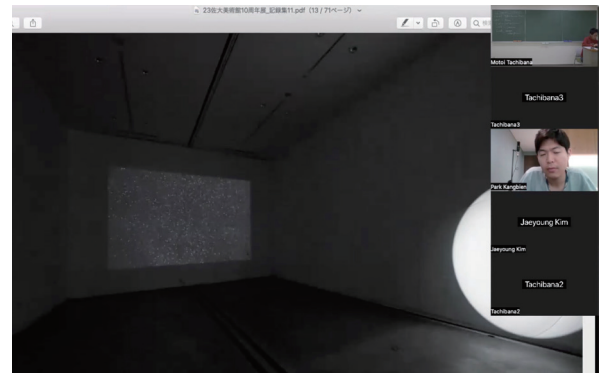
House of Arts Ceske Budejovice 展示場風景

○橘基…韓国の学生にレクチャー

2024 年 3 月から 6 月にかけて、韓国延世大学と佐賀大学との合同企画「4D Quantum (4 次元量子の世界)」を開催。橘は韓国の大学生に物理学に関するオンラインレクチャーを行った。理工系学生のみならず、社会系や芸術系の学生も聴講する中、昨年の『響きあうアート』での活動や、素粒子の世界に親しんでもらおうと考案したキャラクター「そりうし (反り牛)」に触れながら、科学と芸術の接点や協同可能性について話し、受講者の反応やディスカッションから好感触を得た。



レクチャーの様子



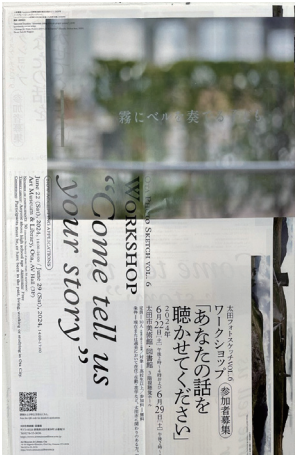
■美術×心理学

土屋貴哉（佐賀大学芸術地域デザイン学部地域デザインコース教授）

村久保雅孝（佐賀大学医学部看護学科統合基礎看護学講座准教授）

○土屋貴哉+村久保雅孝…太田市美術館・図書館（群馬）から招聘

『響きあうアート』で共同した土屋+村久保ペアは、群馬県の太田市美術館・図書館に招聘され、市民ワークショップ「あなたの話を聴かせてください」を協働実施。6月22日（土）および29日（土）の2日間に渡り、「他人にはまったく意味を持たないかもしれない、けれどあなたにとっては切実な意味を持つ何か（以下「それ」）」をテーマに参加者へ「それ」を手練り寄せることを促す試みをした。文章、写真、音声で手練られた「それ」らは、土屋の構成・構築により、半年後の同館企画展『太田フォトスケッチ vol.6 ささやかな話、確かなこと』（12-1月／企画学芸員 山田晃子）にて、前述テーマと同名のインスタレーション作品として、『響きあうアート』出品作を含む土屋の主要過去作品群と共に同館全域にわたり展示公開された。会期中、対談講演「わからなさのゆくえ」も同館にて開催。



2024年6月22日（土）
ワークショップの風景



「太田フォトスケッチ vol.6 ささやかな話、確かなこと」会場風景（撮影：吉江淳）

■美術×哲学

近藤恵介（佐賀大学芸術地域デザイン学部芸術表現コース准教授）

後藤正英（佐賀大学教育学部教育課程教授）

○後藤正英…芸術地域デザイン学部にてゲスト講義、地域デザイン研究科にて新科目開設

2024年11月25日（月）10:30-12:00に芸術地域デザイン学部の授業「アートプロデュース演習Ⅰ」内で後藤がゲスト講師として哲学についてのレクチャーを行った。『響きあうアート』でも取り上げられたウジュピス共和国（リトアニア内にあるアーティストたちによる仮想国）の憲法、2024年にリトアニア国立美術館で開催された日本のポップアートに関する展覧会、カント生誕300年をめぐる哲学者たちの2024年現在の議論などが紹介された。また2025年度より地域デザイン研究科の選択科目「アートと近現代思想」を開設・担当することとなった。



ゲスト講義の様子



2024年12月8日（日）シンポジウムの様子

○近藤恵介…日本画シンポジウム

近藤による科研費成果展『絵画の練習』（2024年11月29日（金）～12月15日（日）、佐賀大学美術館）に関連して、2024年12月8日（日）13:00-16:30にシンポジウム「絵画の練習」が開催され、後藤も参加者として質疑に加わった。主に籙木清方の「卓上芸術」における主客（主題）の有無をめぐる議論がなされ、これを哲学における主客問題と接続する可能性について検討された。



「絵画の練習」展示会場風景（撮影：柳場大）

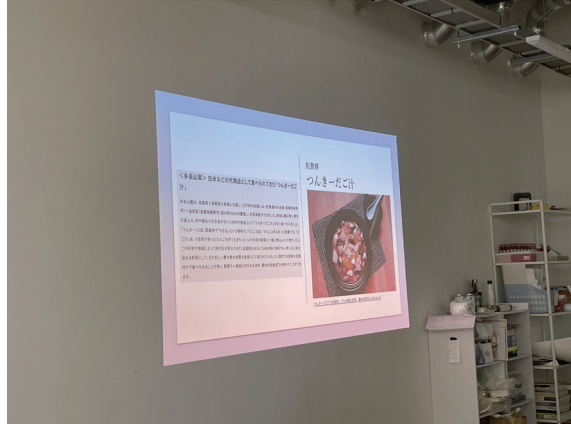
■美術×民俗学

阿部浩之（佐賀大学芸術地域デザイン学部地域デザインコース准教授）

藤村美穂（佐賀大学農学部生物資源科学科国際・地域マネジメントコース教授）

○阿部浩之＋藤村美穂…合同ゼミで食とアートをめぐるプロジェクト

阿部ゼミ＋藤村ゼミは『響きあうアート』展以後も継続してしばしば合同ゼミを開いてきた。2024年7月31日（水）には、佐賀大学美術館が2025年度に招聘予定のアーティスト増田拓史氏の現地見に合わせて合同ゼミが開催され、国内外各地で食とアートをめぐるプロジェクトを手がける増田氏の佐賀での活動に両ゼミ生が協働する可能性について話し合われた。



2024年7月31日（水） 阿部＋藤村合同ゼミの様子

「時が来たら自然に何か動き出す」という二人のスタンスのため、現在のところそれ以上のことは進んでいないが、藤村は、『響きあうアート』展で訪れた山間部に現在も通い続けており、そこで出会った人や活動をヒントに、面白い企画（「アート」展の際に今後の活動として二人で話したことがある、地元の人をも巻き込んで物語をつくる企画など）も考えられそうな気がしているとのこと。

阿部は2024年に福島県でのリサーチと滞在制作を行い、地元の方に聞きこみを行いながら作品制作を行った。今回はテーマを「風」に設定したが、活動を行う中で石についての話——かつて津波が到達したことを記録に残した石碑である「津波石」の話や、巨大地震に備え構築した巨大な防波堤の話、放射能飛散により水が汚染されたため、あらたな飲み水の水源として、地下にある大きな岩盤のさらに底にある地下水から水道を引くことになったある村の話——を聞いた。石は現在でも、人々の生活を物質的にも精神的にも支えていて、そうした関係性が新しい物語や風習を作り出そうとする気配を感じた。こうした経験が、また二人でのコラボレーションにつながりそうな気がしているとのこと。



福島でのアーティスト・イン・レジデンス（阿部）の様子



THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM

佐賀大学美術館

佐賀大学美術館 令和5年度 年報・紀要

2025年8月1日発行

発行：佐賀大学美術館 ©2025

佐賀市本庄町1番地

※本書の仕様は、「平成25年度年報+紀要」（デザイン：佐賀大学文化教育学部 荒木博申教授）を一部踏襲した。